

社会福祉法人のぞみ会レオ保育園

平成30年度事業計画

はじめに

今年度は、保育所保育指針が改正され、保育園の機能は、より一層質の高いものが求められる。これまでの保育を見直し、より子ども主体の保育運営となるよう努めていく。

キャリアアップで様々な職責についての職員が研修で学び、職員の育成に力を入れ、園内研修・園外研修を充実させて職員の質の向上を図り、子どもの成長発達に寄与していきます。育休から復帰する職員、産休に入る職員といます。業務内容を見直し、全職員が働きやすい環境を作っていきます。

○子どもたちが自分の気持ちをいっぱいに出して仲間と楽しく過ごせるように、しっかりと子どもの気持ちを受け止め、寄り添い、環境を整え活動を支えていきます。

○保護者がより一層安心して働けるように細やかな心配りを欠かさず、信頼を持たれるような保育を行い、保護者とのコミュニケーションを図る。

○保育園と保護者が連携して子どもの育ちを支える上で、多忙な日々を送っている保護者に寄り添いながら気持ちを共有し、日々のお迎え対応や面談などで、子どもの育ちを共有することを積極的に行うようにする。

また、保育園からの情報提供と共に保護者の意見や要望を聞く機会をもち、保育や運営にも反映できるように努力する。

○配慮児に対しては、子ども、保護者をフォローしながら、発達センターや医療機関との連携を築き、発達支援を行う。

○地域交流保育や関係機関（近隣小学校・保育園・福祉施設等）との連携により、地域の子育て支援拠点の一つとなるように努める。

○地域の小学校との交流、又、中・高校生の職場体験の受け入れを積極的に行います。

○国、東京都、市の今後の保育の動向を職員、保護者に速やかに伝え、共に知恵を出し合い、地域の核としての保育園の役割を考えていきます。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
すみれ組	0歳	4名	12名	
たんぽぽ組	1歳	4名	20名	
ちゅうりっぷ組	2歳	4名	22名	
りす組	3歳	2名	22名	
きりん組	4歳	2名	22名	
ぞう組	5歳	2名	22名	
合計		18名	120名	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 292日
24	24	26	25	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	23	23	23	25	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児クラス(月1回)、1歳児クラス以上(年2回)
歯科健診	全園児(年2回)
歯磨き指導	全園児(年2回)、親子指導(年1回 1歳児以上)
尿検査	3歳児クラス以上(年1回以上)
視力検査	3歳児クラス以上(年1回)

エ 保育指針

情緒の安定と発達をはかり、豊かな情操を養い、良く考え判断し、創造性豊かな、心身共に健康な子どもを育てる。

オ 各組の保育目標

ぞう組（5歳児）の年間目標

- ・基本的な生活習慣が確立し、見通しを持って生活できるようにする。
- ・生活や遊びの中で、一つの目標に向かい力を合わせ活動し、達成感や充実感をみんなで味わう。

きりん組（4歳児）の年間目標

- ・基本的な生活習慣が身につくよう、自発的に行えるようにする。
- ・保育士や友達と一緒に遊びながら、つながりを広げ集団としての行動が出来るようになる。

りす組（3歳児）の年間目標

- ・食事や排泄、睡眠、衣服の着脱などの生活習慣が身につく、自立できるようにする。
- ・保育者や友達と一緒に遊ぶ中で、自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する。

ちゅうりっぷ組（3歳児）の年間目標

- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で言葉のやり取りを楽しませる。
- ・保育士等との安定した関わりの中で、身の周りのことを行い、自分でできた喜びを感じる。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・保育士に援助されながら、基本的な生活習慣の基礎が身につくようにする。
- ・探索活動を通して、十分に聞く・見る・触れるなどの経験をし、人や周りのものへの関心をもつ。

すみれ組（0歳児）の年間目標

- ・落ち着いた雰囲気の中で欲求を満たし情緒の安定を図りながら一人一人の豊かな個性を育み信頼関係、愛着関係を育てる。
- ・個人差に留意しながら離乳の完了や歩行、発語への意欲を育む。
- ・保健的で安全な環境の中でのびのびと遊び、色々な体験を重ねて感覚の発達を豊かにし、身の周りの物事へ興味・関心がもてるようにする。

カ 主な行事予定	4月	入園式、進級式
	5月	節句の集い、春季健康診断、保護者会、尿検査
	6月	歯磨き指導、歯科健診、4・5歳児親子遠足、お泊まり保育
	7月	プール開き、七夕の集い（誕生日会と合同）、夏祭り
	8月	プール納め
	9月	防災引き渡し訓練、敬老の集い
	10月	開園記念日、園内観劇会、運動会、 秋の遠足（3、4、5歳児）、芋掘り、ハロウィン
	11月	お芋パーティー、七五三の集い、園外観劇会、勤労感謝 秋季健康診断、歯科健診
	12月	発表会、クリスマス会
	1月	縦割り保育（3、4、5歳児）
	2月	節分の集い お店屋さんごっこ
	3月	ひな祭りの集い（誕生日会と合同）、卒園遠足、お別れ会 卒園式
月例行事		誕生会、避難訓練、身体測定 体育あそび（毎週） リズムあそび（月2回）
その他		小学校との交流保育、他の保育園と交流保育

キ 食事

[1] 目標『食を営む力』の基礎を育む

配慮事項・食材の安全確保を行う。

- ・薄味、和風献立に心がける。
- ・旬の素材を使った献立作りを心がける。
- ・見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がける。
- ・保護者との連携を密にする。

[2] 栄養管理

パソコンソフト「わんぱくランチ」により、毎日の献立の栄養計算、保健所への月報の提出（年2回）を行う。また、レオ保育園の献立を「わんぱくランチ」に保存していく。

[3] 食育

毎月一予定献立表の配布（幼児食・アレルギー児食・離乳食）をする。

掲示板一食に関わる情報を提供する。

給食だより一レオ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、年6回発行する。

食に関する行事一年間の行事に沿った行事食の提供や調理保育、日々の給食を通して食の楽しさ、大切さを伝える。年長児は小学校への進学に向けた給食での取り組みを行い、食事のマナーを身につけ、小学校の給食への期待をもたせる。

食を考える一0歳児は月1回の乳児会議にて子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立について、乳児担任・栄養士・調理員が話し合う。また、月1回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りへ取り組んでいきたい。また、食育を含め食全般についての勉強、話し合いの場としていきたい。

展示食一玄関に、その日の給食の見本とコメントカードを展示する。

[4] 衛生管理

○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目に沿って確認を行う。

○調理人の細菌検査（毎月1回）調理室・乳児調理室の清掃、ワゴン清掃（毎日）冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存（2週間）をしていく。

[5] 栄養給食目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン A u g	B 1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	525	20.0	15.0	225	2.7	125	0.25	0.30	20
3歳以上児	584	22.0	16.0	275	2.3	135	0.32	0.36	20

[6] 離乳食に関して

「離乳の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、間もないので7か月までは、そのまま離乳食（完了食）を準備し、さらに充実させていく。アレルギー児の「食物除去」も、医師の指示のもと調布市アレルギー対応マニュアルに沿って、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により除去解除できるようにしていく。

○離乳食の進め方

- 1 食べ易い形で・・・子どもの一人一人の個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。手づかみ食べを十分にし、噛める子どもに育てる。
- 2 栄養と食品のバランスを考えて・・・保育園で提供を行う食材については基本、家庭で複数回摂取し、アレルギーなどの問題が無い事を確認し提供を行っていく。穀類・タンパク質・野菜の三種類を合わせた献立の提供を行う
アレルギーを起こしやすい卵については、使用しない献立にする。
- 3 薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

ク 安全管理・危機管理・防災

交通安全教育 (6月)

非常災害時の避難訓練 (毎月地震・火災を交互に行い、年に1回水害の訓練)

引き渡し訓練の実施 (9月)

防犯訓練 (2月)

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
副主任保育士	3名
保育士	16名
栄養士	2名
調理員	1名
看護師	1名
事務員	1名
嘱託医	1名(非常勤)
非常勤、パート	11名

イ 健康管理

健康診断 年1回

細菌検査 年12回

ウ 職員会議

- ・職員全体会議 (献立会議ヒヤリハット検討会議含む) 毎月1回
- ・リーダー会議 月1回
- ・乳児会議・幼児会議 月1回
- ・クラス会議 各クラス月1回
- ・食育対策委員会会議

エ. 研修

- ・職場内研修
 - 感染症対応研修 (全職員)
 - アレルギー誤食対応研修 (全職員)

ハンドベル研修 (外部講師にて年1回)

専門職としての研修 (外部講師にて年1回)

- ・新人研修 年1回
- ・キャリアアップ研修
- ・府中保健所主催研修
プール研修
栄養士研修
- ・東京都主催の事務研修
- ・東社協研修
- ・その他必要に応じ外部研修
- ・障害児保育研修
- ・調布市保育園協会保育所職員専門研修年9回
- ・主任研修
- ・施設長研修

オ 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会従事者共済会加入
- ・インフルエンザ予防接種費用
- ・懇親会費用
- ・職員細菌検査 (0-157)
- ・職員健康診断

2 特別保育事業

①サービス推進事業

- ・産休明け
生後57日目から受け入れを行い支援を行います。
- ・延長保育
仕事等により、保育時間内に迎えに来られない場合18:00~19:00までの延長を行います。
- ・障害児保育
医師の診断書を提出後、保育課の専門担当が判断し、障害をもつ児童の成長発達を支援します。
- ・アレルギー児対応
医師の診断に基づき、調布市生活管理表を提出したアレルギーに該当する児童に対して除去食等の対応を行います。
- ・育児困難家庭への支援
育児困難である家庭を支援し、行政機関と連携を取りながら保育支援します。
- ・次世代育成支援 (小中高生の育児体験受け入れ)
中学生、高校生の職場体験やボランティアを受け入れし、育成支援を行います。
- ・育児不安の軽減 (保育所体験、出産を迎える親の体験学習)

地域の親子を保育園の行事や保育所体験を行い、育児不安を軽減します。

- ・ 保育人材の確保・育成（保育拠点活動支援）

保育学校や看護学校の学生の育成に力を入れます。

- ・ 第三者評価受審

平成29年度に受審し、受審結果を反映し、取り組んでいく。

3 施設管理

(1) 事務関係

- ア 会計事務、管理事務

会計、園長を中心に適切に行っていく。

- イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

園長・主任が総括する。

(2) 設備関係

- ア 固定遊具の設備点検

平成29年度に外部業者に固定遊具点検終了 異常なし
機器・遊具の設備点検 定期的に点検

- イ 設備点検

消防用設備点検（ホーチキ）	年2回
建物検査（共同エンジニアリング）	年1回
高圧電力検査（八木橋電気）	年6回
学校110番点検（テルウェル）	年4回
厨房器具点検（ホシザキ）	随時
グリストラップ清掃（調布清掃）	年3回
汚水槽清掃（調布清掃）	年1回
給食室ダクト清掃（ジンダイ）	年1回
園舎内床ワックス（ジンダイ）	年1回
園舎内窓他清掃（ジンダイ）	年1回
植栽剪定（リメックス）	年3回

(3) 備品関係

- ア 備品購入予定

バイオクッション3枚

- イ 保育用品購入予定

必要に応じて、保育用品の購入

- ウ 給食用品購入予定

必要に応じ、給食用品・消耗品の購入
食品運搬ワゴン車 3台

エ 固定資産物品購入予定

折りたたみ式おでかけ兼避難車（防災）1台
栄養ソフト「わんぱくランチ」

(4) 災害対策

ア 避難訓練

4月地震、5月火災の訓練内容を確認しながらクラス単位で行う。

6月以降、火災と地震を交代に全体で行う。

9月は、防災引き渡し訓練 保護者参加、引渡し確認簿、子どもメール

11月は、消防署立ち合い 通報訓練、消火訓練

イ 防災設備の点検委託

ホーチキ防災設備点検 年2回（内、届け出1回）

ウ 防犯・火災対応

学校110番

セコム

火災自動通報装置

エ 非常食糧の備蓄

○（全児童数120人分+全職員）×3食×（1日～3日）分

献立作成あり

品名		消費年月日
アルファ米（チキンライス）	5kg×1	2018年3月
アルファ米（五目）	5kg×1	2018年6月
アルファ米（わかめ）	5kg×1	2018年7月
カンパン	110g×96	2020年2月2日
まつやのおかゆ 野菜	80g×32	
まつやのおかゆ カルシウム	80g×32	
缶入りミニクラッカー	75g×50缶	2019年6月29日
缶入りミニクラッカー	75g×48缶	2018年4月
ほほえみキューブ（ミルク）	27g×24袋×7箱	2018年4月28日
スーパー保存水	1.5ℓ×8本×7箱	2018年10月31日
スーパー保存水	1.5ℓ×8本×7箱	2018年6月30日
スーパー保存水	1.5ℓ×20箱	2019年6月30日
スーパー保存水	1.5ℓ×23箱	2021年10月13日

4 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 保育参観、参加

保育参観、参加として、年間で設定した日付の中から1回参加可能。設定された参観の日以外も保育参観したい場合は、可能としている。

面談については、設定した期間で申込み頂き行うが、申し出があれば、随時面談も対応。

イ 保護者会

年1回5月に保護者会を行う。1年間の運営方針、確認事項などと保健、給食からの方針や確認事項を伝える

クラス懇談会 年2回 5月保護者会後

2月クラス毎

ウ お知らせ

- ・園だより毎月1回発行
- ・クラス便り 2ヶ月1回発行
- ・保健だより毎月1回発行
- ・献立表（離乳食・幼児）・献立表（離乳食・幼児・アレルギー）毎月発行
- ・給食便り
- ・食事・離乳食だより年間3回発行

5 地域社会との連携

調布市社協が主催し、調布市内社会福祉法人が協力し、フードドライブに協力
幼保小連絡協議会

地域の中学校から職場体験

地域交流事業

6 資金計画

保育園通常経費は、保育所委託費、東京都補助金、調布市補助金で賄われる。
充実残高として、平成29年度、30年度は、レオ保育園川口人件費とする。

7. 積立計画

保育所施設・設備整備積立金

市施設振興費積立金

8. 3カ年計画の具体化

平成30年度 園庭の緑地帯側に遮音壁を建て騒音対策に対応。

保育所保育指針改定で重要な事項を理解し、日々の保育の中で実践する。

平成31年度 保育室内の環境整備を行い、子ども達の発達にあった工夫を行う。

レオ保育園の基本理念や方針について根本から見つめなおし、共通理解する。

平成32年度 園庭の整備を行う。

社会福祉法人のぞみ会

レオ保育園

平成30年度事業計画